



臼井 幹夫 議員

池田町のふるさと納税について

池田町のふるさと納税は、近隣市町村に比べると大変多くの納税をされており、町民の皆様意識も高まっています。そんな中で、ふるさと納税は去年は五億二千万ほどの納税があり、必要経費を差し引いても一億九千万ほどの財源があり、寄附金の使い道は、養老鉄道存続支援・子育て支援・池田町まるごと応援の三点があり、どのようなルールや規定に基づいて運営しているのか。

町長

ふるさと納税は、全国の市町村がいろいろ知恵を出しながら、地域の活力や魅力を発信したり、特産品を紹介し多くの皆様に第二のふるさとを持つていただき、特産品を知ってもらいたいということからスタートしました。

今年度も九月十日現在で一億七千三百万を超える御寄附を頂いており、前年度並を維持していきたい。財源の使い道については、区分を三点に選択して出来るようにしており、養老鉄道の存続問題は、町としても重要な柱であり一町のみで一億数千万を維持していくのは非常に難しいので、存続のため支援の御寄附をお願いしている。子育て支援には、医療費の無料化や、保育園児の対応とか、人口減少をとめる為や、子供たちの事などを考えて施策を展開している。同時に池田町まるごと支援で、町が進める事業内容を御理解して応援して頂く三点から選択して頂いている。寄附額の割合は養老鉄道が20%、子育て支援が30%、池田町まるごと支援が50%という状況です。



池田町で採れた色々なお茶

意見書 道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める(抜粋)

道路は、地域経済の発展や社会活動を支えるとともに、災害時には住民の生命や財産を守るライフラインの機能を有するなど、住民の生活に不可欠な社会資本である。

現在、「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」は規定により補助率等の嵩上げを行い、道路整備に対する配慮がなされているが、この措置は、平成29年度末までの時限措置となっている。

大規模災害等に対する防災・減災対策や既存道路の老朽化対策、東海環状自動車道西回り区間の開通を見据えた近隣市町との交通ネットワークの形成等多くの課題を抱えている。

法律の嵩上げ措置を平成30年度以降も継続することを強く要望する。